

# 国労東日本本部第26回拡大委員会を開催



## 国労は一人の困難を皆で解決



(組合員の購読料は組合費に含まれます)  
港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 伊藤秀樹  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 682 定価 20円

2009年 2月 28日

### 国労は一人の困難を皆で解決

第26回 特集 拡大委員会

国労東日本本部は2月7日、第26回拡大委員会を東京新橋・交通ビルにて開催し、定期大会以降の運動の総括から、JR不採用事件の早期解決をはじめとする「09春闘」勝利、労働条件改善、「安全・安定輸送」の確立に向けた闘いなど、当面する闘争方針を確立した。とりわけ、組織拡大については多くの委員が発言を集中、同時に今委員会に向け募集をしていた組織拡大標語の表彰も併せて行い、引き続き全力で取り組むことを意思統一した。

松井副委員長の司会あいさつで始まった国労東日本第26回拡大委員会は、東日本委員20人中19人と構成員全員の出席を確認し委員会成立を宣言。議長には志村委員・東京地本を選出。冒頭、執行部を代表し伊藤委員長があいさつ。続いて、海渡・福田の両東日本顧問弁護団、全国交運共済東日本事業本部・宮坂本部長、国労本部・浜中書記長を順次紹介し報告とあいさつをいただいた。

佐々木婦人部長の祝電紹介に続き、高野書記長が経過報告と「当面する闘争方針(案)」を一括提案。山根執行委員が協約・協定の締結承認について提案し全体の拍手にて承認された。続いて、議事は組織拡大標語の表彰に移り、武田組織部長が受賞作品を発表し午前の議事日程を終了。午後の議事は討論から再開し、東京闘争団・松本氏の特別発言と青年部の森岡書記長の特別発言を含め、全体で18名が発言。高野書記長の集約答弁にて経過、闘争方針(案)をそれぞれ全体の拍手にて承認した。その後、執行部より用意されていた「新規採用者獲得を柱に組織の強化・拡大を目指す特別決議」と「委員会宣言」につい

**御協力**  
ありがとうございます  
**アルパ**  
闘争団支援  
会場物販  
売上げ  
78,810円

### 組織拡大標語 第1次募集に 130作品 最優秀賞は 長野・細野さん

て全体の拍手にて採択。一人議長で奮闘された志村委員を全体の拍手にて解任。松井副委員長が閉会のあいさつをし、最後に堀内青年部副部長の元気な団結ガンパローで全日程を終了した。



伊藤秀樹委員長

### 職場から公平・公平を 求める取り組みを

本委員会の重要議題は、①として2009春闘についてです。今、まさに春闘勝利に向けた具体的な取り組みが進められています。先の中央委員会で、国労要求1万円とあわせて9項目の具体的な要求が決定されました。今春闘は、ベア獲得が組合員の切実な要求であることは明らかであり、雇用不安がかつてなく増大し、非正規・正規労働者失業問題がクローズアップされる状況下での春闘となります。

私たち組織された労働者が自らの企業内における「未組織労働者」・「非正規雇用労働者」問題などの生活改善などを課題として、地域の仲間と連帯し闘う春闘にしていく取り組みを強めていかなければなりません。②は、重要な局面を迎えたJR不採用問題についてです。年度未解決をめざすための最重要課題は、何よりも「4者4団体」が大きくまとまった「総団結」と、当面する2〜3月闘争等の大衆行動成功に向け全力を挙げることを改めて確認したいと思えます。また、「採用差別国労訴訟」は9月の結審が予定され、「採用差別横浜人活訴訟」の裁判闘争も、先行訴訟団とあわせ、当事者はもちろんのこと、国労組織全体で支える体制を強く訴え

国労東日本本部は、組織拡大に向けて、第1次組織拡大標語を組合員から募集し、第26回拡大委員会までに130作品の応募がありました。

執行委員会で選考した結果、10作品を入選とし、最優秀、優秀は下記の作品です。応募、ありがとうございました。

- 最優秀賞 長野地本 細野勉
- 優秀賞 日頃のつきあい 押し的一声 仙台地本 武田昌仙
- 優秀賞 人生を気楽に語ろう 国労でー!! 長野地本 松原茂

国労は一人の困難を皆で解決  
長野地本 細野勉  
仙台地本 武田昌仙  
長野地本 松原茂

「会社と組合は、本件和解の趣旨及び内容について、十分に周知徹底を図ること」を再度確認することです。同時に、この間、中労委に対し昨年9月9日「あっせん申請」を行ってきました。中労委における個別の事情聴取において、会社側代理人から中労委の取り扱いは「不適法」である等の主張が繰り返され、その入り口から事実上の対立状況が作り出されました。国労東日本本部として会社側代理人の主張は容認出来るものではありませんが、こうした新たな状況のもとで「あっせん申請」の取り扱いについて、各地方本部委員長、書記長会議で意思統一を図り、職場での問題点を日常的に把握し、地方・本部が一体となって職場で発生する具体的課題の改善を通じて、公正・公平な「人事」「労務管理」「個人情報管理」などが適正に行われる取り組みを進める確認をしました。本委員会においても重ねて意思統一を要請致し、国労東日本本部はその先頭に立つ決意を申し上げます。

# 三言 委員長 発言

不採用事件・・・悔いを残さない闘いを  
 春闘等・・・反失業・貧困と結合した闘いを  
 組織問題・・・グリーンスタッフ差別に対し現場から闘いを  
 労使関係・・・職場から公平・公正を求める闘いを

## 【JR不採用問題】

◎22年が経過。平均年齢55歳、国労闘争団966名中45名、1047名全体では51名が解決の日を見ることなく亡くなっている。  
 ◎重く受け止めると共に2度と起こしてはいけない。「設備メンテ合理化」から7年、具体的事象や実態・問題点を職場から検証し、見直し改善の取り組みを！  
 ◎早急に「設備メンテナンステ体制」を見直すため職場からのストライキを配置し春闘と結合して闘うべきではないか！

◎春闘を「反失業・反貧困」と結合させた闘いを！  
 ◎度重なる輸送障害で現場は精神的なストレスが極めてまっている！  
 ◎私たちは、長きにわたる鉄道経験と知識を今こそ生かし、働きやすい職場に変えるため堂々と職場の中心に国労が座ろう！  
 ◎女性社員の年休以外の有給休暇に対して標準数への加算を求めていただきたい！

◎組合加入が少ない原因は組合費の問題と劣悪な労働条件の中であり、交渉単位としての分会結成が求められる。  
 ◎現場長の姿勢と対応の違いによって格差とミスマッチが生じている。  
 ◎人間ドックについて「扶養者は3年に1度しかかフェテリアが使えない」を毎年に改善を！  
 ◎組織強化・拡大  
 ◎グリーンスタッフ社員は正社員と同じ仕事をさせられ、一方では福利厚生を含め大きな差別をされている。現在取り組んでいる署名を通じて具体的な組織・現場からの闘いの提起を！

◎「不平・不満」が蔓延している。特に若い人たちは無権利状態で働かされている。今の現状から一歩前に踏み出て国労加入を！  
 ◎支社の旧態依然とした対応がある一方で、指導者研修を巡って会社と東労組が対立するなど従来とは違つた構図も作りだされている。

◎今後の課題は「どうやって守るか」を、どう話しよくさせるか！  
 ◎一括和解以降、組織拡大は特別なことではなくなった。すべての職場にその実現の可能性が広がっている！

## 【組織問題】

◎エルダー制度  
 ◎出向という扱いの中で労働条件や職場の問題に対してなど課題は山積している



## 高野 書記長集約

【JR不採用問題の早期政治解決を求める取り組みについて】

解決環境が整いあとは政府の決断であり、年度末までが非常に重要なゾーンだと言われている。すでに提起がされている諸行動に全力を挙げる。また、この機に解決を図るといふ決意を持ちながら闘争団を支える取り組みについて強化をし今後の具体的な行動と早期解決に向け全力を挙げることにする。

【安全・安定輸送確立、労働条件改善の取り組みについて】

JR東日本が究極の安全を目指すという決意のもとで安全・安定輸送を確立するとしてきたが、しかし重大事故・輸送障害が後を絶たない現状となっている。昨年来、検証委員会を立ち上げ調査を取り組んできた。早期に要求の整理を行い取り組み強めたい。

また、委託業務問題については交流会などを取り組むとともに、並行在来線問題については本部の対策会議の中で一次素案がまとめられた。今後本部と連携し国労の政策要求に全力を挙げる。  
 貨物のJRカードについては労働条件の最たるものである。現在、協議会として署名の取り組みが計画さ

れている。全力を挙げる。

【09春闘について】

新賃金要求については2月9日に会社に申し入れる。非正規雇用問題は大きな社会問題になっている。私たちの身近にいる非正規雇用・契約社員仲間を励ますとともに、正社員化に向けた取り組みを結合し取り組んでいかなければならない。現在取り組み進めている署名に全力をあげ奮闘することとする。また、今日の意見については戦術委員会に反映させたい。

【あっせん申請について】

現在こう着状態となっている。今後の取り扱いは中央労働委員会に判断を求めるとするが、労使関係の基盤は双方が誠実に協議、交渉を通じて問題の解決を図ること。職場における不公平感の是正、一括和解以降の実態の検証など今後具体的な取り組みについては委員会終了後直ちに書記長会議招集し意思統一を図る。

【組織強化・拡大について】

拡大までの取り組みの報告や、なかなか拡大に繋がらないという報告もあつたが、この取り組みは、今後の中で大きな原動力になると共に将来展望にとっても重要な課題である。具体的な取り組みについては組織部長会議の中で意思統一したい。

【アスベスト対策】

◎この問題に精通した役員・活動家の育成と役割が重要。実務も含めた研修などの検討を！

【貨物】

◎地域住民が危機感を持ち始め、信越線・北陸線を守る会や考える会が立ち上がっている。今後の取り組み 固反対！

【健全な労使関係を求める取り組み】

◎未だ課題は残っているものの、着実に改善が図られている部分もある。他方、

【並行在来線問題】

◎貨物郡山の仲間の青森配転問題についてその後の経過が分かれれば？